

12月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/12/03 (月)	東京は株価が軟調に推移したうえ、日銀総裁の発言やGCC関連の噂などから円買い優勢。欧米は連銀高官の発言や米経済指標の悪化を受けドル売りでスタートするも米株が強く、下げ渋り。	・英テレグラフ紙「FRBが今週20億ボンドもの評価損計上へ」 ・湾岸協力会議(GCC)でドルペッグ離脱問題協議の噂 ・11月の米ISM製造業指数50.8 ・シティGのSIVの資産が大幅目減り	・日銀総裁「いまの日本の金利は低すぎる」 ・ボストン連銀総裁「無効数ヶ月の成長率は潜在的水準を下回る」 ・サンフランシスコ連銀総裁「なにもしなければ住宅差し押さえは増加」	110.94 111.01 110.13 110.47	162.64 162.66 161.42 162.04	寄付 安値 高値 終値
07/12/04 (火)	東京は引き続き株価にらみ。日経平均が軟調に推移したこともありクロス中心に円買い優勢。欧米はサブプライム関連の損失発生観測などから円が続伸。ドル/円は110円を割り込む。	・11月のマネリヘース1.0% ・一部英銀にサブプライム絡みの損失発生 ・カナダが25BPの利下げ実施	・独財務相「2月のG7では寄り厳しい為替の文言が使用される可能」 ・サウジ財務相「為替政策を変更する計画はない」 ・GCC「首脳会談の声明でドル安・円高に言及せず」	110.45 110.52 109.56 109.86	162.03 162.34 160.90 162.13	寄付 安値 高値 終値
07/12/05 (水)	東京は伸値不足に加え、英テレグラフ紙報道を好感した円売り優勢。クロス中心に円は大幅安。欧米は米経済指標やムーティースの季発表などを受け荒い値動き。最終的には米株高に支えられる。	・豪州が金利据え置きを発表 ・英テレグラフ紙「ノーサンロックが国有化される可能性も」 ・11月のADP全米雇用報告18.9万人、同ISM非製造業指数54.1、10月の米製造業受注0.5%	・UAE中銀総裁「ドルペッグ制、予見可能な将来に変更しない見込み」 ・中国人民銀行「金融政策を引き締める」 ・ムーティース「債務保証会社MBIAが資本不足に陥る可能性は低い」	109.87 110.97 109.76 110.90	162.20 163.07 161.48 162.02	寄付 安値 高値 終値
07/12/06 (木)	東京はドル安は正の期待などもあり対ユーロ中心にドルの買い戻し優勢。対円は111円はさみで揉み合い。欧米はFRB理事の弱気発言で円買いスタートしかし終盤のホワイトハウス声明を好感、ドルの買い戻しへ。	・来年2月のG7で欧州主導のドル高は正要請がされるとの噂あり ・南アが政策金利を0.5%引き上げ ・BOEが政策金利を0.25%引き下げ ・ECBが金利据え置き決定	・クロスナードFRB理事「住宅ローンの債務返済遅延の増加が予想される」 ・ECB総裁「直近の情報では強いインフレ圧力が確認される」 ・ホワイトハウス「サブプライムローンの返済金利を5年間凍結で民間銀と合意」	110.92 111.47 110.63 111.32	161.91 163.13 161.20 162.95	寄付 安値 高値 終値
07/12/07 (金)	東京はGDPが予想を下回ったことで円売りが優勢となるも全般的には薄商いで、下値は限定的。欧米は予想を上回る米雇用統計を好感したドル買い進む。ドルは高値圏での越週に。	・第3四半期GDP改定値0.4% ・11月の米失業率4.7%、同費農業者雇用数9.4万人、12月シカゴ大消費者信頼感指数74.5	・米財務長官「強い米経済がドルに反映」	111.38 111.79 111.17 111.70	163.26 163.89 162.37 163.72	寄付 安値 高値 終値
07/12/10 (月)	東京は機械受注良好の円売り優勢。ただUBSの報道が途中から円の下支え要因に。欧米はレンジ内で右往左往。方向性乏しい。株取引停止のニュースはドルの弱材料ながら株高が下支え。	・10月機械受注12.7% ・UBSがサブプライム関連でさらに100億ドルの評価損計上を発表 ・米金融保障大手MBIAの株取引が一時停止 ・10月の米中古住宅販売保留0.6%	・福田首相「外準は円の安定に必要、安定性・流動性に注意して扱う」 ・シュタルクECB理事「08年のユーロ圏インフレ、スタグ予想を上回る可能性」 ・関係筋「G7を2月8日、東京で開催する計画」	111.66 111.90 111.45 111.70	163.63 164.58 163.24 164.32	寄付 安値 高値 終値
07/12/11 (火)	東京は揉み合い。ただ株高が進行したこともあり、やや円安優勢。一時112円に迫る。欧米はFOMCの利下げ幅が失望に終わったとの見方などからドル売り優勢。中東筋の動向も弱材料に。	・12月独ZEW景況感指数 37.2 ・10月の米卸売在庫0.0% ・FOMCで0.25%の利下げ決定、「今回の決定は9対1」	・バーレーン財務相が通貨バスケット制への移行を示唆	111.81 112.15 110.48 110.66	164.45 165.00 161.91 162.19	寄付 安値 高値 終値
07/12/12 (水)	東京はFRB筋のコメントを好感した円売り優勢。ユーロ/円など一部クロスは1円を超える円安が進行した。欧米は東京FRB筋の発言がさらに具体化された資金供給策発表もあり円独歩安。ドル/円は112円台へ。	・10月の経常黒字2兆2291億ドル、11月の国内企業物価指数0.2% ・香港が政策金利を0.25%引き下げ ・10月の米貿易収支 578億ドル、対中 259.3億ドル、対日 79.6億ドル	・FRB筋「流動性供給のためにあらゆる手段を考慮」 ・バンクが「今期業績に付いてきわめて失望的な内容になる」 ・FRBやECBなど欧米5中銀が年末の協調大量資金供給を発表	110.88 112.48 110.80 112.24	162.57 165.31 162.40 165.08	寄付 安値 高値 終値
07/12/13 (木)	東京はカババンクへの資金拠出報道を受け日経平均が400円近い下落。株安を受けて円買い優勢。欧米は米PPIが歴史的な数字となったことで米利下げ観測が後退。流れ一転してドル買い優勢に。	・10月の鉱工業生産確報値1.7% ・本邦カババンクに米国側からサブプライム基金への拠出要請あり ・11月の米PPIは3.2%(34年ぶりの大幅上昇)、同小売売上高1.2% ・日銀短観悪化の噂	・英財務相「中銀は必要であれば行動する用意が来ている」 ・NY連銀総裁「中銀は流動性供給の追加手段を検討」 ・前FRB議長「米経済のレセッション確率は50%」	112.03 112.46 111.41 112.22	164.81 164.95 163.60 164.21	寄付 安値 高値 終値
07/12/14 (金)	東京は日銀短観の悪化から円売りでスタート。しかしムーティースの発表が円の下支えに寄与。欧米は前日のPPIに続き、この日はCPIが高く、再びドル高進行。ドル/円は113円台へ。	・12月日銀短観19 ・ムーティースが米シティGを格下げ ・11月の米CPIは0.8%、同設備稼働率81.5%、同鉱工業生産0.3%	・バーカーBOE政策委員「最近のボンド下落、製造業の多くにとってはよいニュース」 ・ルクセンブルグ首相「ユーロ相場について行動する段階ではない」	112.33 113.60 112.28 113.28	164.31 164.65 163.25 163.45	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで